

第3次ヘルスプランぎふ21とは

子どもから高齢者まで全ての県民が、共に支え合いながら、生涯を通じた健康づくりに取り組み、健康で幸せに暮らせる岐阜県を目指すものです。  
計画期間：2018～2023年

目的：健康寿命の延伸  
(現状値) 男性 72.89年 / 女性 75.65年

〈中間評価の概要〉

・計画で定める目標指標68項目のうち、40項目(58.8%)について評価を行いました。

「年次目標に達した」「年次目標は達していないが、改善がみられた」を合わせた「改善傾向」の割合は、45.0%でした。

○ 改善傾向	年次目標に達した	11項目
	年次目標値は達していないが、改善がみられた	7項目
▲	変らない	6項目
	改善がみられない	16項目

(評価指標：一部抜粋)

【生活習慣病の発症・重症化予防】

○	脳血管疾患、虚血性心疾患の死亡率は順調に低下(虚血性心疾患男・女性、脳血管疾患女性目標達成)
▲	特定健康診査の受診率は年々増加しているが、目標値との乖離は大きい
○	がん検診及び精密検査受診率は増加傾向(肺がん・乳がん検診受診率は目標値を達成)
▲	糖尿病の発症予防及び重症化予防に関する指標は改善していない

【生活習慣の改善】

▲	子どもの運動習慣は減少
▲	継続的に運動習慣をもつ人の割合は減少
▲	栄養・食生活は、良好でない項目が多い
○	自殺者数、ストレス等、心の健康関連項目の多くは改善
▲	成人喫煙率は男女共に悪化
○	むし歯のない幼児(3歳児)は増加

第3次計画後半の方向性

ウィズコロナ時代を見据えた健康に優しいまちづくりの推進

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化する中で、「新しい生活様式」により県民の身体活動や食事、社会との関わりが大きく変化しており、今後の動向を注視する必要があります。

◆一人ひとりが取り組む健康づくり ～ライフステージ別の行動目標～

	次世代の健康	働く世代の健康	高齢者の健康
	子どもの健やかな発育や生活習慣の形成	健康維持のための生活習慣病予防・メンタルヘルス対策	生涯現役就労や社会参加の促進・虚弱の予防
食生活 栄養			
身体活動 運動			
こころの 健康			
たばこ	喫煙しない 他人のたばこの煙は避ける	たばこを吸っている人は、今日から <b>禁煙宣言</b> 他人のたばこの煙は避ける	
アルコール	飲酒はしない 節度ある飲酒を心がける！ <1日あたりの飲酒量>清酒なら <b>1合</b> まで、ビールなら <b>中瓶1本</b> まで		
歯・口腔 の健康	歯のセルフチェックと定期的な歯科健診で、口腔内を健康に保とう！		
生活習慣 病の予防	早寝早起き朝ごはん	定期的に健康診査を・適切にがん検診を受診しよう！	

◆社会で支える健康づくり ～自然に健康になれる環境づくりを目指して～

